

# ふれあい通信



長南町  
長平野 貞夫

渡邊辰五郎氏や記念館事業については何度も広報紙に取り上げましたが、辰五郎氏は本町出身で、東京家政大学の創始者であります。その縁で家政大学とは友好関係にあり、特に教育の分野での交流は年々充実してきています。

私は4年前の就任当時から、長南を代表する中心地「長南宿」に人々が集い憩える拠点を作り、人の流れを生み出すことによって、かつての活気と賑わいを取り戻したいと思っていました。

そんな時、国が地方創生事業を打ち出しましたので、「長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地域の活性化を図ることにしました。その拠点施設の計画予定地が辰五郎氏の生誕地であったことから、「渡邊辰五郎記念館」として総合戦略に位置付け、国の交付金を活用して事業を進めていくことにしたわけであります。

先般、TBSの「噂の！ 東京マガジン」という番組に取り上げられました。外部から圧力をかけて反対しようとしているのかもしれません、まだ計画段階ですので、町内の方々は町内でしっかりと議論し、解決していくべきであります。

辰五郎氏に関する資料を展示して、町内外から人を呼び込もうと思ったことなどはないわけであります。

地方版総合戦略の策定時には、第三者機関を設置し、それぞれの立場の方からご意見をいただきました。総合戦略に基づく基本構想、

基本計画の策定段階においても、予算をいただき検討委員会を設置した中で、委員からご意見をいただいたところです。また、その成果物については、議会や町民の皆様にご報告させていただきました。辰五郎記念館事業は、こうして一定のプロセスを経て進めてきたところです。新聞折り込みのチラシやブログで言っている、「町長は町民が望んでもないことを独断で進めている」というようなことはないわけであります。

とりあえず、今年度予算に計上した基本設計業務委託事業は、現在その執行を保留しております。私としては、出前講座などの要請があれば、いつでも地域に伺いたいと考えておりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

SADA<sup>SMILE</sup>  
No.29